

心で感じたことを表現することを大切に

仲嶺 真弓

年明けの1月はあっという間に過ぎ去り、2017年度も残すところ2か月となりました。次年度に向けて考えることもたくさんあり、2017年度と2018年度が混在する大忙しの時期に突入です。けれどこの2ヶ月間も一つひとつの出来事を大切にしていきたいと思っています。インフルエンザも流行していますが、体調管理に気を付け乗り切りたいと思います。

1月は、人と話すことが多い月でした。保護者とは、つばさっ子1月号の“おやおやルーム”のページを読んで率直な感想を話してくれた人、職員の対応について意見をくれた人、懇談会について意見をくれた人もいました。職員とも話す機会が多く、そのたびにつばさ共同保育園のしおりを何度も読み返していました。私自身、しおりを読み返すのは今に始まったことではなく、定期的に読み返しながら、職員と話そう心がけています。どの職員も大切にしたいことを頭では理解できていても、それが日々の自分たちの行動と繋がっているのかは、私を含めまだまだ未熟な職員も多いので、しっかり忘れず基本において仕事に向かってほしいと思うからです。

1月28日(日)に開催されたアトム保護者会主催のアトム共同保育園50周年企画では、「トラブルからすべてが生まれる～えっ、トラブルって、避けるものじゃないの?～」というテーマで、アトムの原点を築いてきた2人、理事長の市原悟子と理事の金石愛子がコーディネイターとして招かれ、重ねてきた大人同士のやり取りも交えて参加者と共にたっぷり2時間話をしました。この会につばさ保護者も数人参加。少人数でも足を運んでくれたことがとても嬉しく思いました。

今まで、これからも、直接、職員とやり取りをしてくれる保護者の方に感謝。そして、ここで出会い、これから共にそういう関係を築いてもらえるだろう保護者に感謝しつつ、また一步踏み出したいと思います。

「共同保育園」に込めた思い

子どもを健やかに育てたい、出産後も働き続けたいと願う親と、そんな親の思いをしっかりと受け止める職員が、お互いに知恵と力を出し合って共に子どもを育てていける保育園にしたいとの強い思いを込めて「共同保育園」と名づけました。

大人同士の関係が希薄化して助け合いなどが困難になっている現在の状況を改善していきたいと強く願っています。園生活で子どもが色々体験しながら人として成長していけるためには大人がしっかりとした大人でいなければ子どもの成長を止め、歪める結果にもなりかねません。

親、職員は子どもの成長を歪めることなく子どもが健やかに育つために努力をしましょう。人間関係、時にはイヤな事もあるでしょう。話し合うことが面倒だと思ふこともあるでしょう。しかし子ども達に大人同士の関係を見せてあげることが一番の教育になるのです。大人同士が安心して会話している風景をみて子どもは人への安心を感じるのです。ひとは模倣しながら人に育つのですから。

仕事をしながらの子育ては大変です。特に3歳までは子育てが一番大変でしんどい時期です。ましてや第一子の子育ては親にとっては初めてのことばかりで不安が多いと思います。よく言われる『3歳までにしつけないと手遅れになる』『3歳までは親が育てるべき』などの不確かな『3歳児神話』に惑わされず、大変な時期を乗り越えましょう。園には多くの子育て応援団があります。ひとりぼっちで悩まず、保護者同士がお互いを支え合う、子育てなかまになれるように職員はお手伝いします。

子どもたちを育てながら職員も育ちます。保護者もまた成長します。子育てをとおして大人も育ちあえるつばさ共同保育園にしましょう。*共に子育てを担う仲間として職員のことも「先生」でなくニックネームで呼んでいただけるような関係を築ければと思っています。

大切にしていること

保育園は、こどもたちにとって日常生活の場です。安全を確保すると同時に、心の緊張を取りはらい、自然体で安心して過ごせる場所でありたいと考えます。できる限り大人の管理を少なくし、子どもの意欲を育みたいと考えます。

喜び、悲しみ、くやしさを共感し合える仲間や信頼できる大人たちにかこまれて過ごす毎日をつみ重ねながら、いきいきと育ててくれることを願っています。「ひと」として育つために保育で大切にしている三つの柱は・・・

- ① 自己表現の力を養います。(子どもの体験で大事にしたいこと) ② 1人1人の個性を大切にします。(職員、保護者が心がけること)
- ③ 人間関係作りを重視します。(子ども、保護者、職員ともに体験すること)

子どもの自発的な遊びを大切にし、自分を認め、相手を認められる人間関係の土台作りを重視します。

保育士と子ども・・・子どもが安心感をもてるように関わり、自己表現できるように共感し、受け止め、理解しながら関係を深めます。時には保育士の気持ちを正直に伝え、子どもにも保育士の心を理解してもらうようにします。

保護者と保護者・・・クラス懇談会、各行事を通して、子育ての悩みに限らず、しんどいことなど何でも言える、困った時に助けあえ卒園後も継続できる関係を作るお手伝いをします。

保育士と保育士・・・つばさ共同保育園の職員としての自覚(保育園に求められている使命)をもちます。人の失敗やトラブルなどを、自分のこととして捉え責任追及に終わらず共に考え補い合い次に活かしていきます。職員会議では自分の思いや考えを表明します。

保護者と保育士・・・共同の精神をモットーに、支えあい、認めあえる関係を作っていきます。それぞれの立場を理解し保護者、保育士の思いを出し合う場(各種の懇談会)を活用し子どもにとって最善のことは何かを考えあいます。

【つばさっ子1月号の訂正】

アトム共同保育所が認可されアトム共同福祉会になったのは2003年です。2012年はつばさ共同保育園開園の年です。2ページカラー写真の紙面下段右のアトム共同保育園のフォトは現在の園舎ではなく、旧園舎です。